

調査・研究をすすめるべき内容について（案）

2007/3/23

ナノテク・材料/ものづくり G

1. 概要

ものづくり「固有技術」とそれを「つなぐ」「流れを作る」技術がイノベーションに結びつくという点は、比較的多くの関係者が漠然と捉えている事項であり、事例も数多く存在すると思われる。しかし、ものづくり技術 PT 会合、およびその準備会合で議論したところ、本点については不明確な事柄が多く存在することも判明した。

そこで、下記の調査・研究を行う。

2. 調査・研究内容

- ・「固有技術」とそれを「つなぐ」「流れを作る」技術がイノベーションに結びついた既成の事例について、分析・検討を行う。
- ・またこれらが「日本型ものづくり」の現状と発展に対して、どのような重要性があるのか、様々な切り口で検討を行う。
- ・調査・研究を行う際には、下記事項に特に考慮する。
 - ・固有技術の見えない部分や、抽象的な部分の蓄積
 - ・情報共有のためのプラットフォーム
 - ・ものづくりのノウハウや情報を伝達するのは「人」であること

3. 実施方法

- ・科学技術振興調整費等を用い、提案・公募を行う。
- ・調査・研究結果については、適宜 PT 会合で討議する。
- ・最終的には、政策提言を目標とする。

以上